

2021年7月21日

忘れまい 相模原殺傷事件から5年

一般社団法人日本自閉症協会
会長 市川宏伸

痛ましい相模原殺傷事件から5年という月日が流れました。

私たち日本自閉症協会は、失われた尊い命の無念さを思い、この事件を忘れることなく、自閉症をはじめとするすべての人達が生きていること、その存在自体が価値あるものであることを引き続き訴えていきたいと思ひます。

この社会では多様性が否定され、弱いものが排除されるということが今なお消えません。社会のなかで安心して生活ができること、その命の尊さには差がないことについて今一度強く訴えたいと思ひます。

この事件について忘れないこと、そして障害、差別は人の心の中にあり、社会の側が作り出すという側面のあること、だからこそ他人事ではなく、社会全体でその克服に取り組んでいく必要があると考えています。

障害のある人たちが幸せに暮らせる地域は全ての人にとっても素晴らしい地域であるという信念をもって今後も活動していきたいと思ひます。